

## 平成14年7月から9月分料金の燃料費調整について (速報値による試算)

本日、財務省から通関統計の平成14年3月分速報値が発表されたことから、平成14年1～3月分速報値までの平均燃料価格に基づき、燃料費調整単価を試算しました。

### 1. 燃料費調整単価

平成14年7月から9月分の電気料金に適用する燃料費調整単価は、平均で25銭/kWhとなり、現行(平成14年4月から6月分料金)に比べて、平均で2銭/kWhの引上げとなる見込みです。

電圧区分	主な契約種別	H14年4～6月分 (現行)	H14年7～9月分 (今回)	現行との差
低圧供給の お客さま (100または200V)	従量電灯, 時間帯別電灯, 低圧電力, 深夜電力Bなど	24銭	<b>26銭</b>	2銭
高圧供給の お客さま (6,000V)	業務用電力, 高圧電力など	23銭	<b>25銭</b>	2銭
特別高圧供給の お客さま (20,000V以上)	業務用電力, 産業用電力など	22銭	<b>24銭</b>	2銭
〔参考〕調整単価平均		23銭	<b>25銭</b>	2銭

(注) 定額制供給のお客さまについても供給約款に定められた方法により調整を行います。

### 2. 標準的なご家庭への影響額

【従量電灯Aのお客さまで、1月あたり300kWhご使用の場合】

平成14年7月から9月分の電気料金は、現行料金(平成14年4月から6月分料金)と比べて、1月あたり6円高くなる見込みです。

料金適用期間	現行 (H14年4～6月分)	今回 (H14年7～9月分)	現行との差
1月あたりのお支払額 (消費税を含んだもの)	6,853円	<b>6,859円</b>	6円

◎ 本日公表された3月分の通関統計(速報)では、石炭価格が発表されていません。  
3月分の石炭価格については2月の通関統計値を据え置いて試算しているため、4月25日発表予定の通関統計値により算定した場合、平均燃料価格・調整単価が変更となる場合があります。

以上